

八尾市民憲章

わたくしたち八尾市民は

1. 若い力をそだてましょう。
1. あたたかい心でまじわりましょう。
1. みどりのまちをつくりましょう。
1. 文化財をたいせつにしましょう。
1. 働くよろこびに生きましょう。

コミセンだより

久宝寺小学校区

男…………… 5,130 人
女…………… 5,607 人
計…………… 10,737 人
世帯数……… 5,339 世帯

美園小学校区

男…………… 3,945 人
女…………… 4,258 人
計…………… 8,203 人
世帯数……… 4,208 世帯
(令和 8 年 3 月末日現在)

発行：久宝寺コミュニティセンター運営協議会

八尾市北久宝寺 2 丁目 1 番 1 号

TEL：072-922-9967

責任者：傍嶋 良享

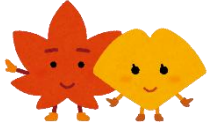
久宝寺ふれあい美園



令和 8 年度 久宝寺コミセンの活動



令和 8 年度の久宝寺コミュニティセンター運営協議会の後期事業計画です。
今年度も、みなさまのご参加とご協力をよろしくお願いいたします。



令和 8 年度

事業計画

ジャズコンサート	…………… 12 月 13 日 (日)
フレンチ教室 (1 回目)	…………… 1 月 26 日 (火)
フレンチ教室 (2 回目)	…………… 2 月 2 日 (火)
コミセンまつり 展示の部	…………… 2 月 20 日 (土)
コミセンまつり 午前展示・午後発表の部	…………… 2 月 21 日 (日)



夏の活動報告 令和 7 年・8 年



メイプルコンサート



メイプルコンサートを鑑賞して

高木 吉久

7 月 26 日午後 2 時から久宝寺コミュニティセンターにて、コミセン運営協議会主催の恒例の地域の弦楽団メイプルストリングスによるメイプルコンサートが開催されました。
35 度を超える猛暑真最中にもかかわらず、会場は超満員、地域住民が如何に待っていたかの表れでした。
2 部構成で、第 1 部はヘンリー・パーセル作曲「アブデラザール・ムーア人の復讐」と芥川也寸志作曲の「弦楽のための三楽章」でした。
ヘンリー・パーセルという作曲家は私は知りませんでしたが、イギリスではバロック音楽家としては有名な方で若く死して大変惜しまれた方ようです。
一曲目のアブデラザールは、バロック音楽らしく聞きやすく聴き入ることが出来ました。
2 曲目の「弦楽のための三楽章」は強靱なリズムとメロディーがマッチして楽しく聴くことが出来ました。
この曲は、聞いたことはありましたが「Triptyque」との題名で世界中で演奏されている有名な曲だそうです。
芥川也寸志さんは、作家で有名な芥川龍之介の子息で、以前 NHK の「歌の広場」という番組で、司会とオーケストラの指揮をされていた方とは知っていましたが、あの方がこんな素晴らしい曲を作っていたとは？
第 2 部は、参加者皆が馴染みの「森の水車」「ふるさと」等 6 曲をメイプルストリングスの演奏に合わせて唄って楽しい時間でした。
午後のウトウトタイムを忘れさせる素晴らしい演奏、さらに楽団主宰者による話術に長けた曲目等の紹介で、アツと言う間の 2 時間ほどでした。このコンサートが何時までも続くことを祈っています。

地域の皆様のご理解ご協力のおかげで無事開催することが出来ました。

A group of students in a kitchen setting, wearing aprons and head coverings, engaged in a practical activity, possibly food preparation or cleaning.



立日

岩本
みなみ

ママとパパと自転車でクッキング教室へいきました。
はじめてつくった料理でしたが、とてもおいしくできました。
キムチをつかった「ビビンバ」と「しらたまぜんざい」を先生に教えてもらいながら、ママとパパといっしょにつくりました。お米をたいたり、やさいを切ったり、おだんごをつくりました。
ほうちょうを使うときは少しこわかったけど、うまく切れたと思います。
クッキング教室の帰りにスーパーでしらたまのこなを買って帰って、ばあばに作ったらおいしかったです。
ってもらえてうれしかったです。
ありがとうございます。

梶田 優香

今回親子クッキングに参加させていただき、「災害時にも役立つヘルシー料理」をテーマに、ハイゼックス炊飯袋を使って炊き込みご飯と蒸しパンケーキを作りました。

調理をしながら、災害時に限られた水や道具でも料理ができる方法や、普段から災害に備えておくことの大切さについて教えていただきました、とても勉強になりました。実際にハイゼックス炊飯袋を使って調理するのは初めてでしたが、袋の中でご飯を炊いたり、蒸しパンケーキを作ったりできることに驚きました。

炊き込みご飯は、袋の中で具材を混ぜる際に、こぼさないようにするのが意外と難しく、少し苦戦しましたが、親子で声をかけ合いながら楽しく作ることができました。

娘も楽しそうに参加していて、特に蒸しパンケーキのデコレーションでは、とても嬉しそうに飾り付けをしていました。自分で作った料理を美味しくするように食べている姿を見ることができ、私も嬉しかったです。

普段とは違う方法で料理をすることができ、親子で楽しい時間を過ごせました。また、楽しみながら防災について学ぶことができ、家庭でも災害への備えについて考える良いきっかけになりました。今回教えていただいた調理方法など、いざというときに役立てられるよう、覚えておきたいと思います。

森本
依俚子

8月3日に親子クッキングに参加しました。子供は五年生と二年生の女の子です。私は料理が得意ではないので、子供には苦手意識を持たないように小さい時からクッキングやホットケーキ作り、包丁の使い方や炒めたり混ぜたりなど、一緒に料理を行うようにしていたので興味を持って参加することができました。近所のお友達と一緒に参加できたのもあり、お気に入りのエプロンをつけてとても嬉しそうでした。

講師の先生は説明もわかりやすく、お手伝いのスタッフの方がみなさんこまめに声かけしてくださったのでスムーズにお料理できました。自宅がIHコンロなので子供たちはガスの火を「怖い」と言いながらも、うまく調整できていました。メニューは『サバ缶で作る簡単ビビンバ』『豆腐で作る白玉だんご』と『お鍋で炊くごはん』でしたが、どれも自宅では思いつかないメニューでしたし栄養価も高くとても美味しくいただきました。とくに白玉だんごは子供たちも「美味しい！豆腐入ってるのわかん！」と言つてぱくぱく食べていました。自宅でもすぐにできそうなのでまた挑戦したいと思います。

近年は子供の体験格差も問題となつていますが、費用もお安くこのような親子でのクッキング体験はとても貴重なものだと感じました。学校からのチラシや回覧などでもっとたくさんの方々に周知し、参加して欲しいなと思いました。

ありがとうございました。